

高知県の経済概況

作成日

H28.9.9

統計課

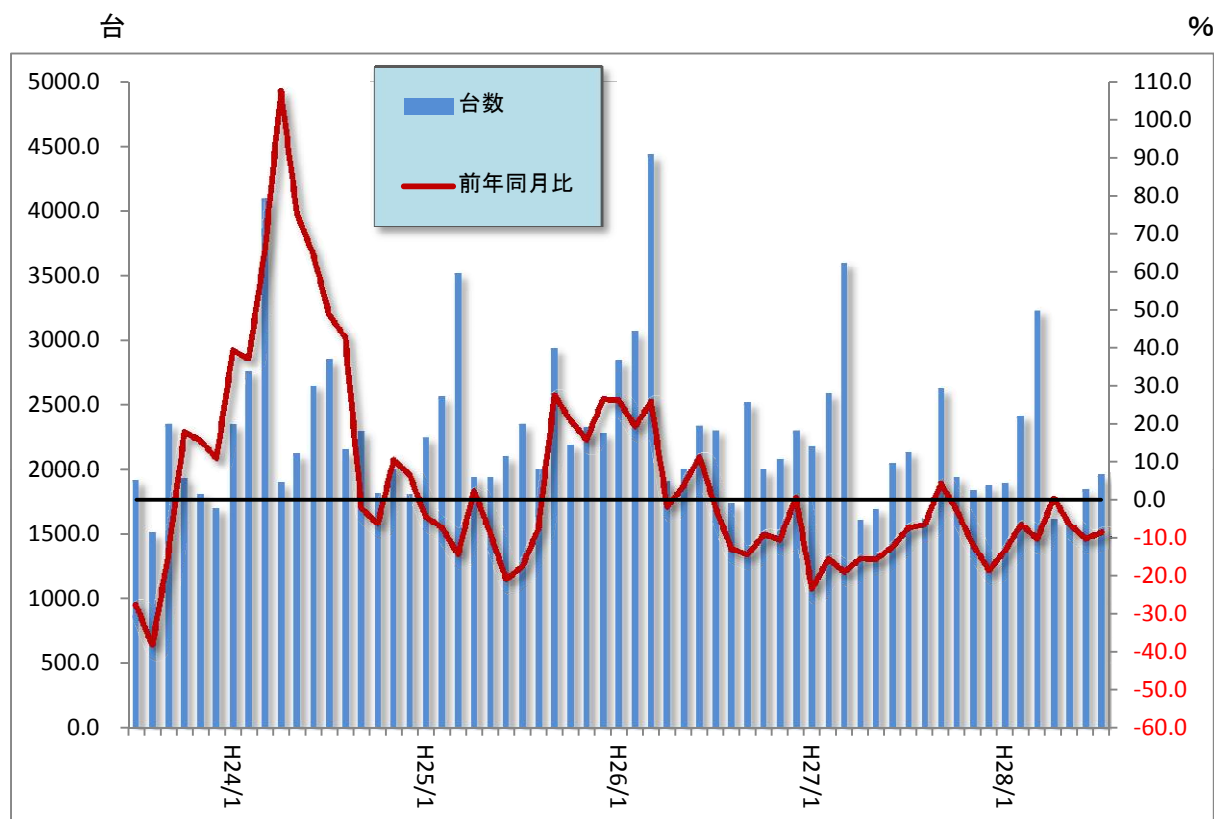
作成時点で公表されている県内経済に関係の深い指標を使い、下記6分野別に経済概況を取りまとめました。

<分野別の動向>

項目	動向 ※特に断りのない限り、指標の増減は対前年同月比を指す
消費	①自動車販売は3ヵ月連続のマイナス(7月) →登録車はプラス、軽自動車はマイナス ②大型小売店販売額は2ヵ月連続のプラス(7月) →百貨店販売額は10ヵ月ぶりのプラス(7月)
投資	③住宅投資は、3ヵ月ぶりのマイナス(7月) ④公共投資は、5ヵ月連続のプラス(8月)
生産	⑤鉱工業生産指数は、前月比マイナス(6月) ⑥大口電力は、18ヵ月連続マイナス(3月) ※電力自由化に伴い、産業用大口電力需要のデータが公表されなくなったため、大口電力統計は3月までとなります。
雇用・所得	⑦有効求人倍率は、1.14倍で前月比マイナス(7月) ⑧有効求人数は、16ヵ月連続のプラス(7月) ⑨現金給与総額指数は、4ヵ月連続のマイナス(6月) ⑩所定外労働時間指数は、2ヵ月連続のマイナス(6月) ⑪常用雇用指数は、7ヵ月連続のプラス(6月) ⑫雇用者所得指数は、4ヵ月連続のマイナス(6月)
物価	⑬高知市消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は99.7で、7ヵ月連続の下落(7月) ⑭全国消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は99.6で、5ヵ月連続の下落(7月) ※7月分からの公表から基準年が平成22年から平成27年に改定。
金融・倒産	⑮国内銀行の県内貸出残高は、3ヵ月ぶりのプラス(7月) ⑯企業倒産の前月比は、件数は、負債総額ともにプラス(8月)

新車登録・届出台数(7月)

登録車は前年比プラスとなり4か月連続のプラスとなった。
 軽乗用車は前年比マイナスとなり、19か月連続のマイナスとなった。



(四国運輸局)

結果概要

<全体>

- ・1,957台(普通517、小型622、軽818)。
- ・前年同月比▲8.6%
- ・3か月連続のマイナス

<車種別>

- ・登録車: +1.2%(4か月連続のプラス)
- ・軽乗用車: ▲19.3%(19か月連続のマイナス)

(台・%)

	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7
新車登録・届出	2,423	3,234	1,619	1,585	1,846	1,957
前年同月比	▲ 6.5	▲ 10.3	0.4	▲ 6.5	▲ 10.2	▲ 8.6

指標解説

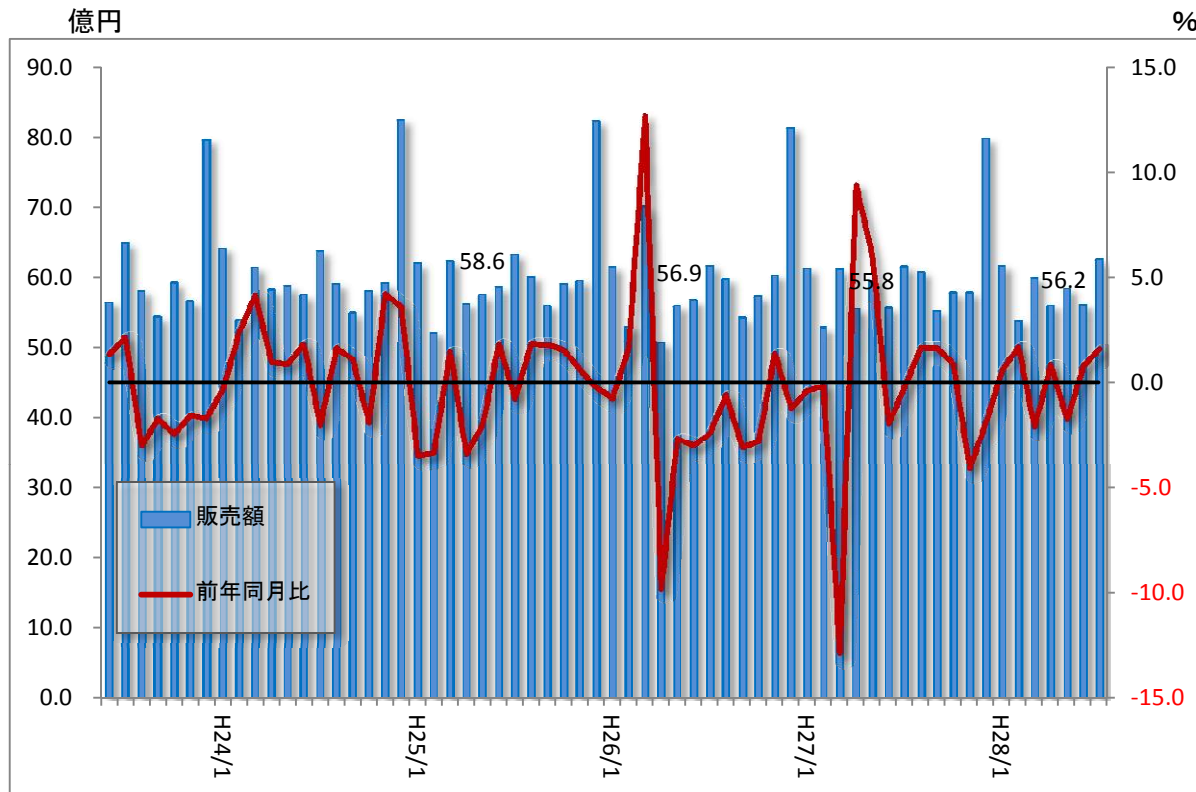
・普通乗用車(3ナンバー)、小型乗用車(5、7ナンバー)の登録台数と軽乗用車の届出台数を合計したもの。

・景気の悪化による、個人消費の落ち込みや消費マインドの委縮は高額商品である登録車(乗用車)の販売台数に反映される傾向がある。

・景気動向指数の「先行指標」の系列に採用されることが多い。

大型小売店販売額(7月)

「その他の商品」などで前年を下回ったものの、「飲食料品」、「衣料品」などで前年を上回り、全体としては+1.6%と2カ月連続で前年を上回った。高知大丸は、前年はスタート時期がばらついたバーゲンセールが、今年は7月からほぼ一斉に始まったことで、主力の婦人服が同4.2%増と好調で、10カ月ぶりのプラスとなった。



(四国経済産業局)

結果概要

<全体>

- ・62億6千万円。前年同月比+1.6%(24店舗)。
- ・2カ月連続のプラス。

(億円・%)

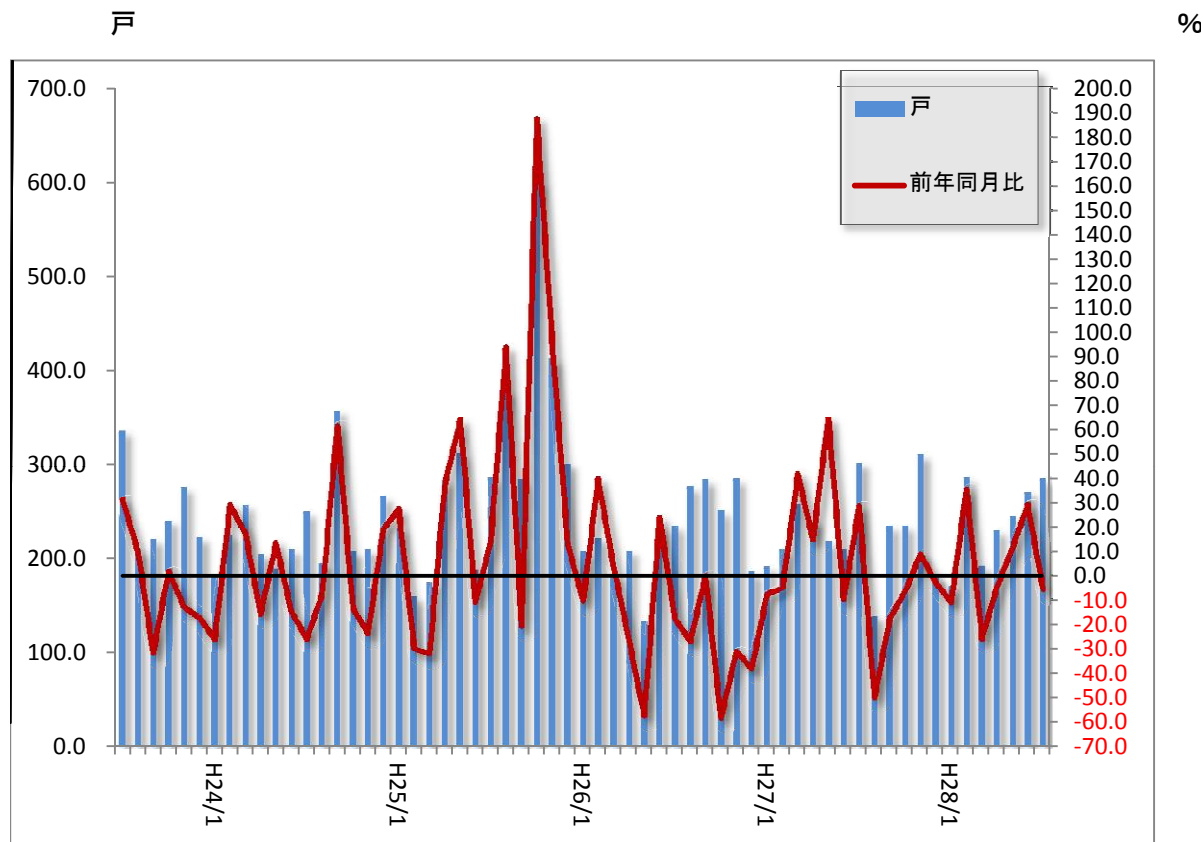
	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7
販売額	53.9	59.9	56.1	58.4	56.2	62.6
前年同月比	1.7	▲ 2.1	0.9	▲ 1.7	0.8	1.6

指標解説

- ・売場面積が1500m²以上の百貨店とスーパーの販売額。
- ・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されることが多い。

新設住宅着工戸数(7月)

持家はプラス、貸家、分譲住宅はマイナスとなった。



(国土交通省)

結果概要

<全体>

- ・285戸。前年同月比▲5.6%。
- ・3カ月ぶりのマイナス。

	(戸・%)					
	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7
着工戸数	286	192	230	245	271	285
前年同月比	35.5	▲ 25.6	▲ 4.2	11.9	29.0	▲ 5.6

<参考>

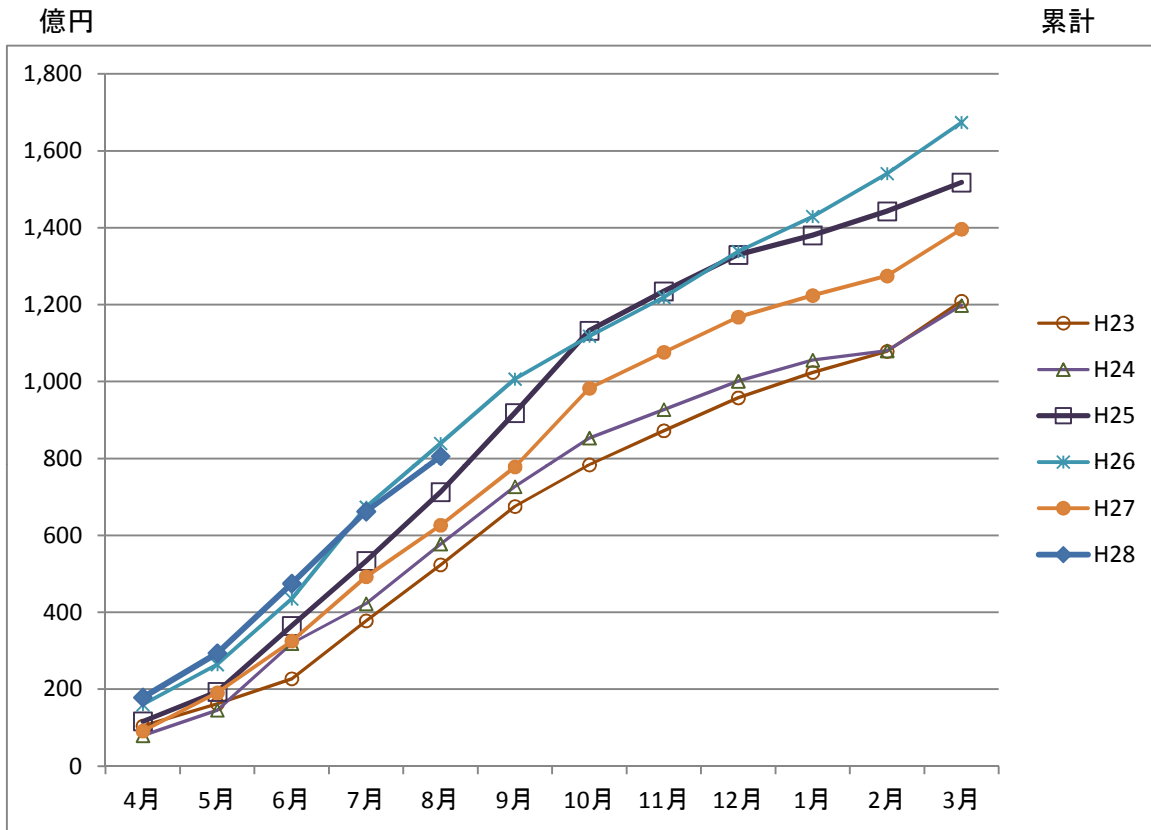
	(戸)					
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
着工戸数	2,770	2,832	2,662	3,658	2,755	2,722

指標解説

- ・床面積10m²以上の住宅(持ち家、貸家、給与住宅、分譲住宅)の着工数。
- ・住宅は設備や部品が多く、関連産業の裾野が広く、景気にも敏感に左右される。
- ・景気動向指数の「先行指標」の系列に採用されることが多い。

公共工事前払保証請負金額(8月)

単月では、県、市町村はマイナス、国はプラスとなった。
累計では、国、県、市町村ともにプラスとなった。



(西日本建設業保証(株)高知支店)

結果概要

<単月>

- ・143億円。前年同月比+7.2%。
- ・5カ月連続のプラス。

<累計>

- ・806億円。前年同期比+28.6%
- ・5カ月連続のプラス。

(億円・%)

	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7	H28/8
単月	122	179	115	181	187	143
前年同月比	▲ 8.5	95.5	15.7	34.6	11.9	7.2
累計	1,396	179	294	475	662	806
前年同月比	▲ 16.6	95.5	53.9	45.9	34.4	28.6

(H23年度1,209億円 H24年度1,198億円 H25年度1,518億円 H26年度1,674億円 H27年度1,396億円)

指標解説

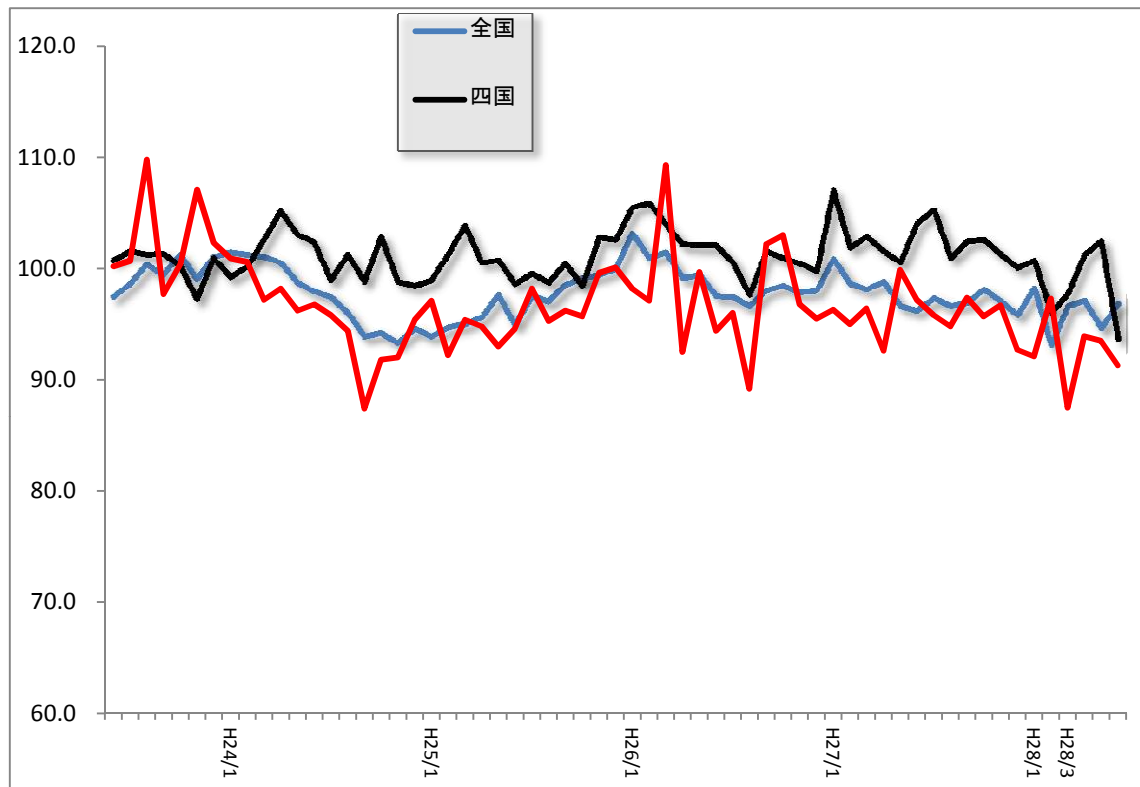
・西日本建設業保証(株)高知支店の保証により、前払金が支払われた公共工事の請負金額。

・高知県の公共工事に対する保証対象の請負金額のシェアは、70%程度と推定されている。

鋳工業生産指数(6月)

全国は前月比プラスとなったものの、本県、四国ともに前月比マイナスとなった。

〈総合〉



(高知県統計課)

結果概要

- ・季節調整済指数は91.3。対前月比▲2.4%。
- ・原指数は91.4。対前年同月比▲6.1%。

(H22=100)

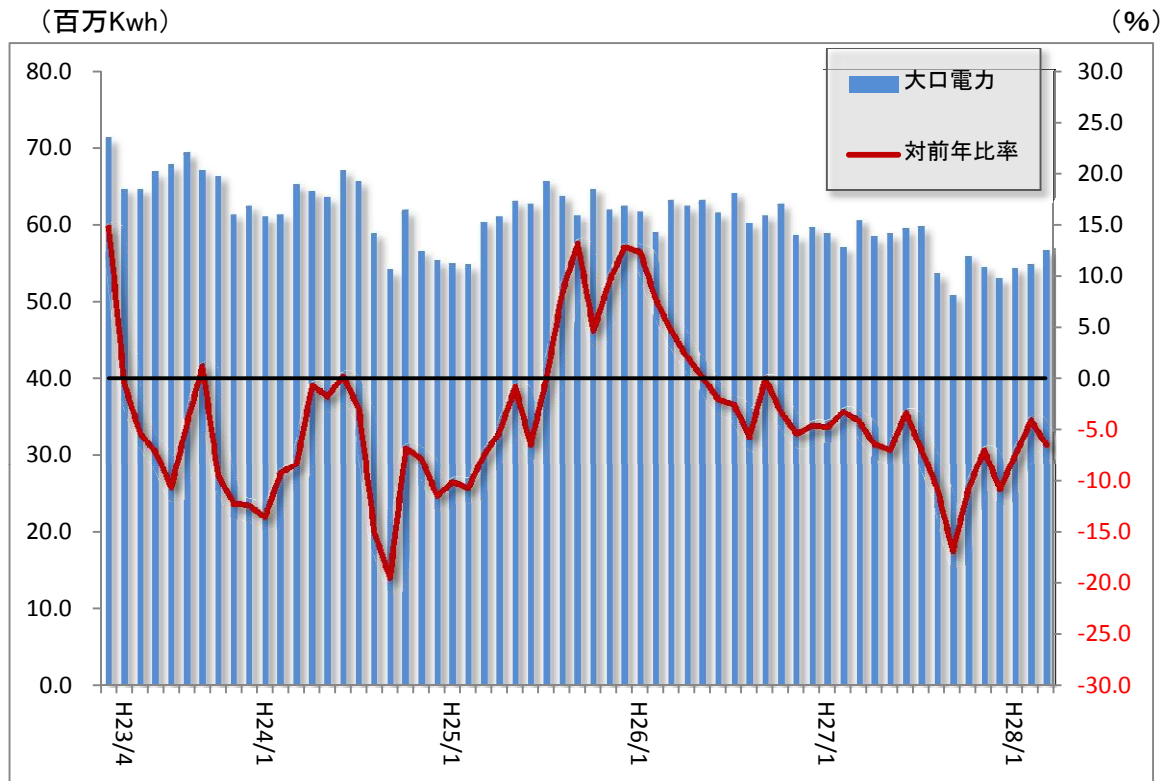
	H28/1	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6
高知県	92.1	97.3	87.5	93.9	93.5	91.3
四国	100.8	96.1	97.8	101.3	102.5	93.8
全国	98.3	93.2	96.7	97.2	94.7	96.9

指標解説

- ・鋳業、製造業に属する企業の生産活動状況を示すものとして作成されている。
- ・速報性があり、景況感をはかる指標としても利用されることがある。
- ・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されることが多い。

産業用大口電力需要(3月)

前年比はマイナスとなったものの、前月比ではプラスとなった。



(四国電力高知支店)

結果概要

<全体>

- ・56.8百万kwh。前年同月比▲6.4%。
- ・対前月比プラス。

(百万kwh・%)

	H27/10	H27/11	H27/12	H28/1	H28/2	H28/3
大口電力	56.0	54.6	53.2	54.5	54.9	56.8
前年同月比	▲ 10.8	▲ 7.0	▲ 10.9	▲ 7.5	▲ 4.0	▲ 6.4

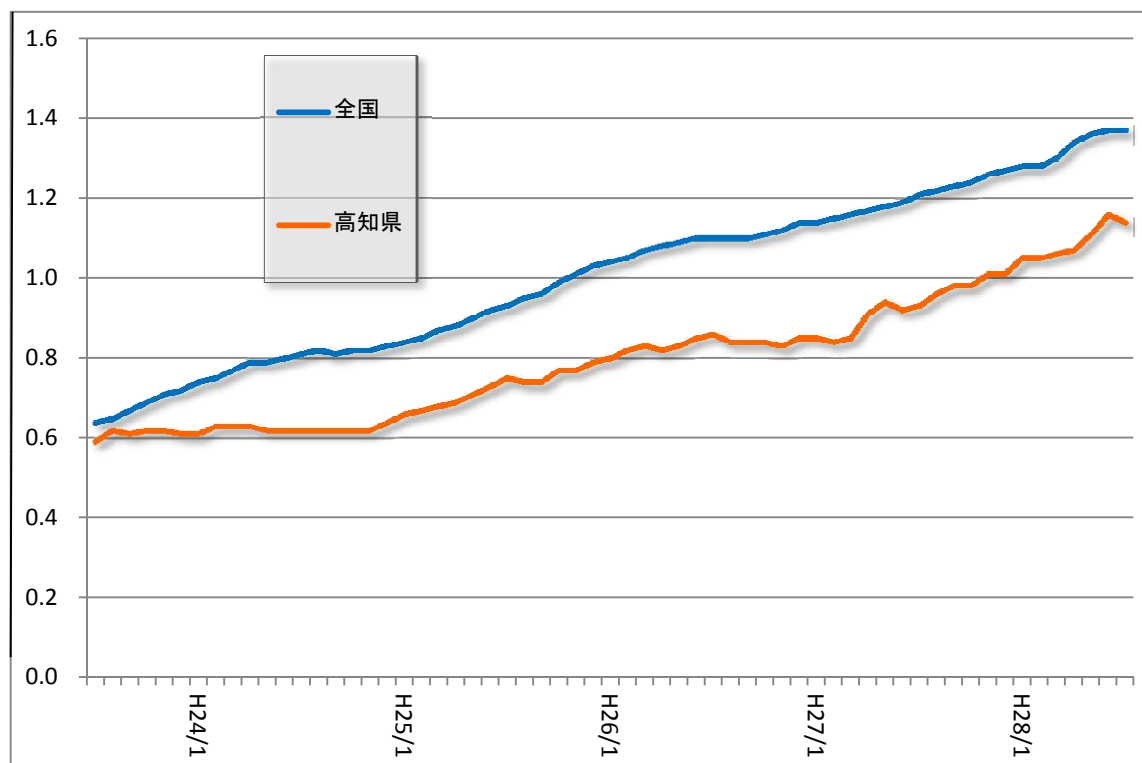
指標解説

・契約電力または、自家発電消費電力が500Kw以上の需要家(産業用に限る)に対するもので、主に工場などで使用される電力。

・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されることが多い。

有効求人倍率(7月)

本県は1.14倍(前月比▲0.02ポイント)。全国は1.37倍(前月比同水準)。



(高知労働局)

結果概要

<全体>

- ・1.14倍。
- ・13か月ぶりの前月比マイナス。

(倍)

	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7
高知県	1.05	1.06	1.07	1.11	1.16	1.14
全国	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37

指標解説

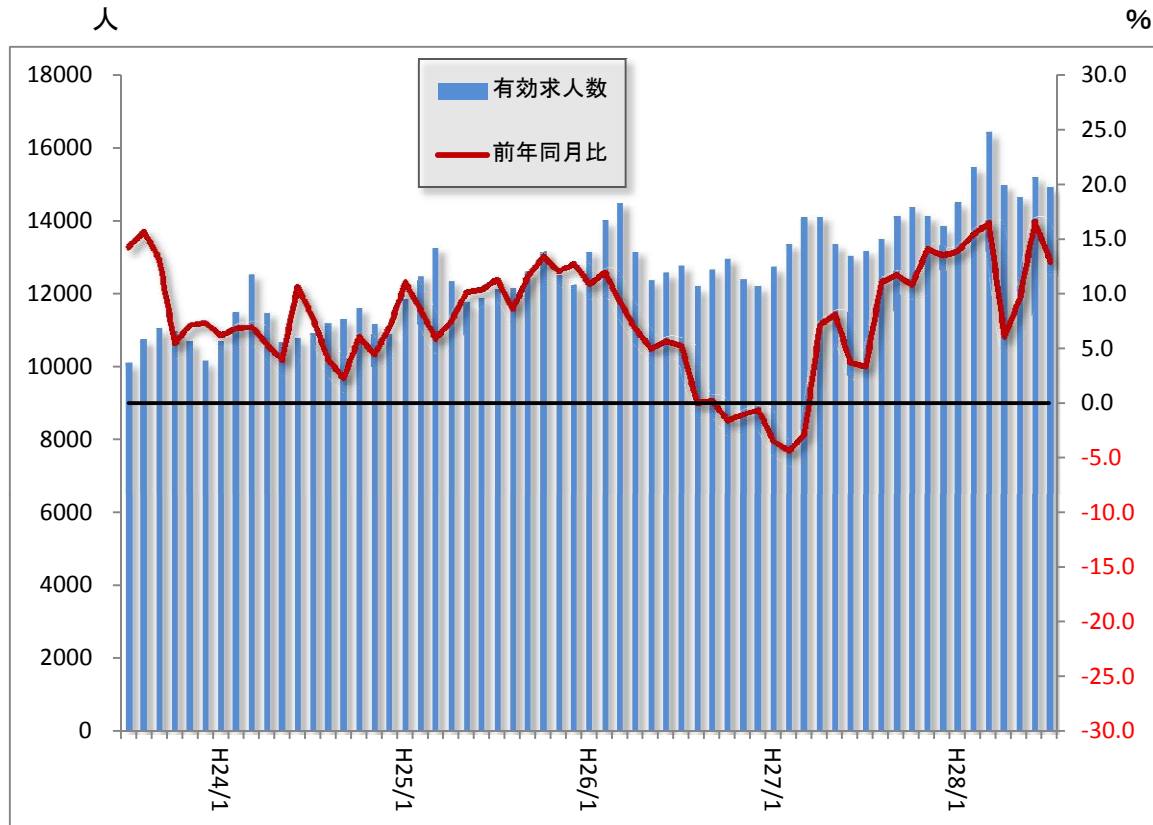
・前月から繰越された数に新規の人数を加えた有効求職者数に対する有効求人数の割合で、求職者1人当たり何件の求人があるかを示すもの。

・一般に倍率が上昇しているときは、景気がよくなっていると言われている。

・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されることが多い。

月間有効求人数(7月)

16か月連続のプラス



(高知労働局)

結果概要

<全体>

- ・14,940人。前年同月比+13.0%。
- ・16か月連続のプラス。

(人・%)

	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7
有効求人数	15,471	16,455	14,999	14,672	15,223	14,940
前年同月比	15.5	16.5	6.0	9.6	16.6	13.0

<参考>

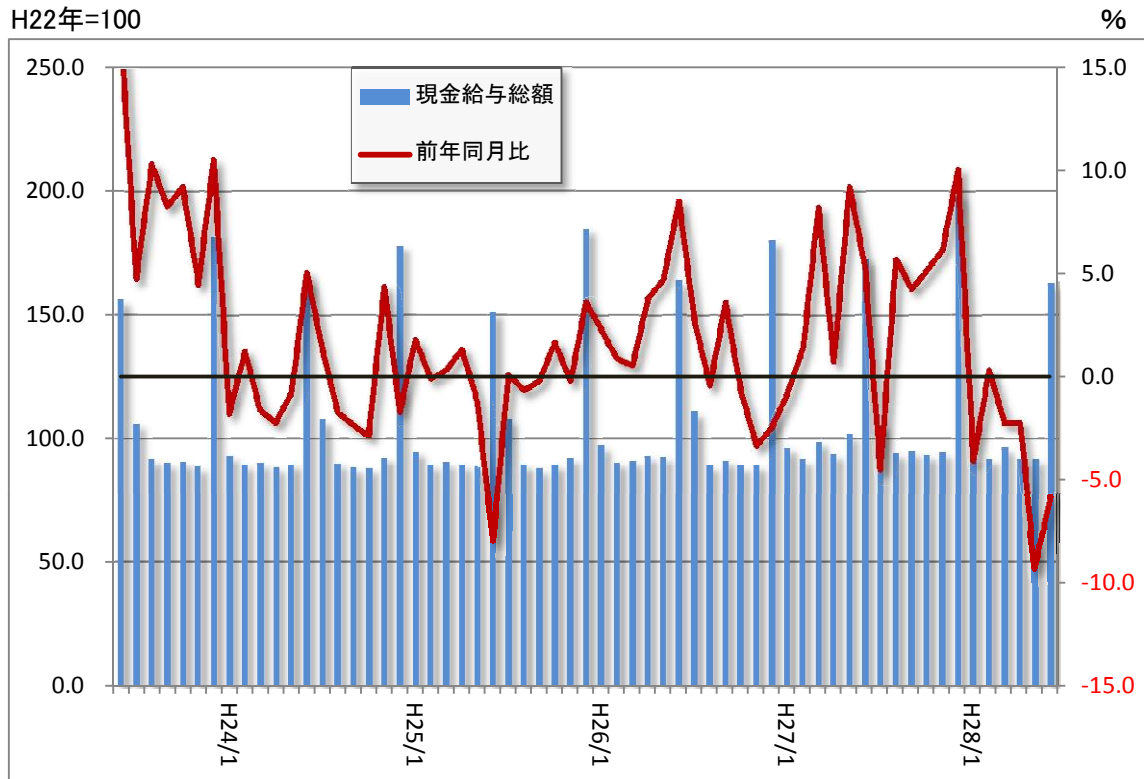
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
有効求人数	115,758	129,533	137,813	152,748	153,683	170,343

指標解説

・公共職業安定所(ハローワーク)が扱う「前月から繰越された求人数」と当月の「新規求人数」の合計数。

現金給与総額指数(6月)

「製造業」「医療、福祉」等で前年を上回ったものの、「建設業」、「卸売業、小売業」等の産業で前年を下回り、全体では4カ月連続のマイナスとなった。



(高知県統計課)

結果概要

<全体>

- ・162.6。前年同月比▲5.8%。
- ・4カ月連続のマイナス。

	(%)					
	H28/1	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6
現金給与	92.6	92.2	96.6	91.9	92.2	162.6
前年同月比	▲ 4.0	0.3	▲ 2.2	▲ 2.2	▲ 9.3	▲ 5.8

指標解説

・所得税、社会保険料、組合費等を差し引く前の総額。

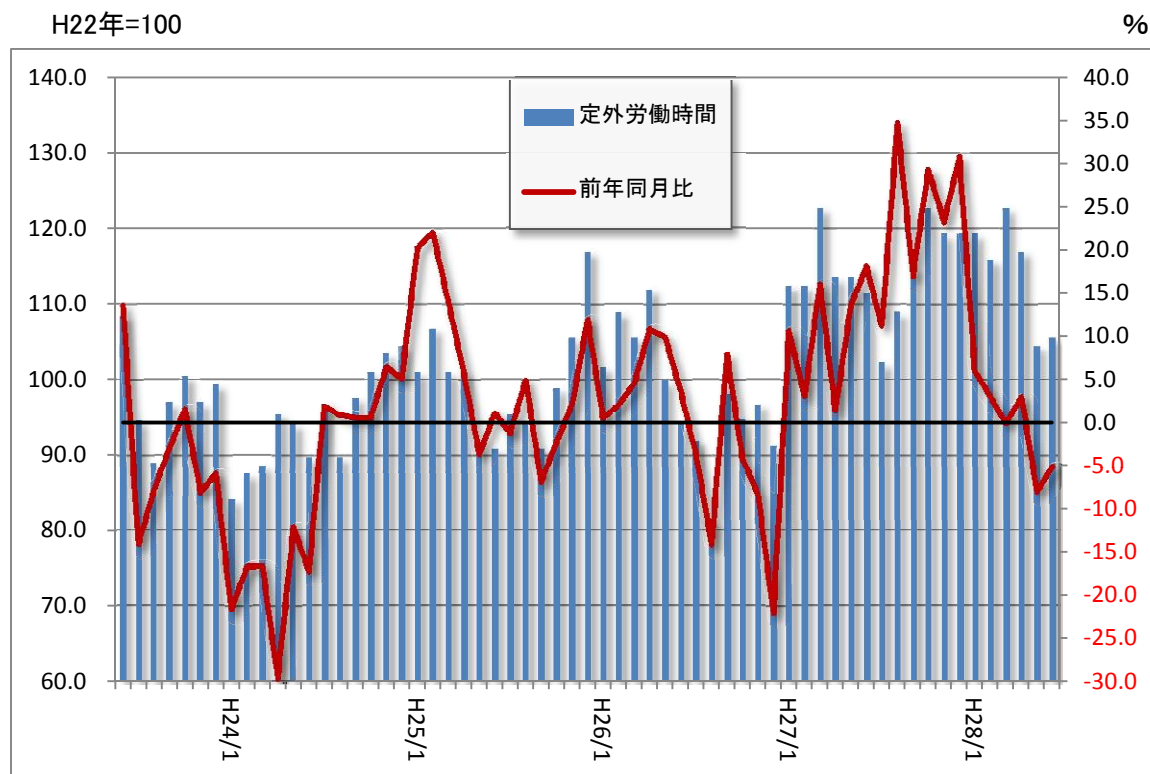
※現金給与総額＝

きまって支給する給与(所定内給与、時間外手当)
+ 特別に支払われた給与(ボーナス、精勤手当等)

・家計における消費の元手資金となる。

所定外労働時間指数(6月)

「宿泊業、飲食サービス業」、「運輸業、郵便業」などで前年を上回ったものの、「建設業」、「卸売業、小売業」等の産業で前年を下回り、全体では2カ月連続のマイナスとなった。



(高知県統計課)

結果概要

<全体>

- ・105.7。前年同月比▲5.1%。
- ・2カ月連続のマイナス。

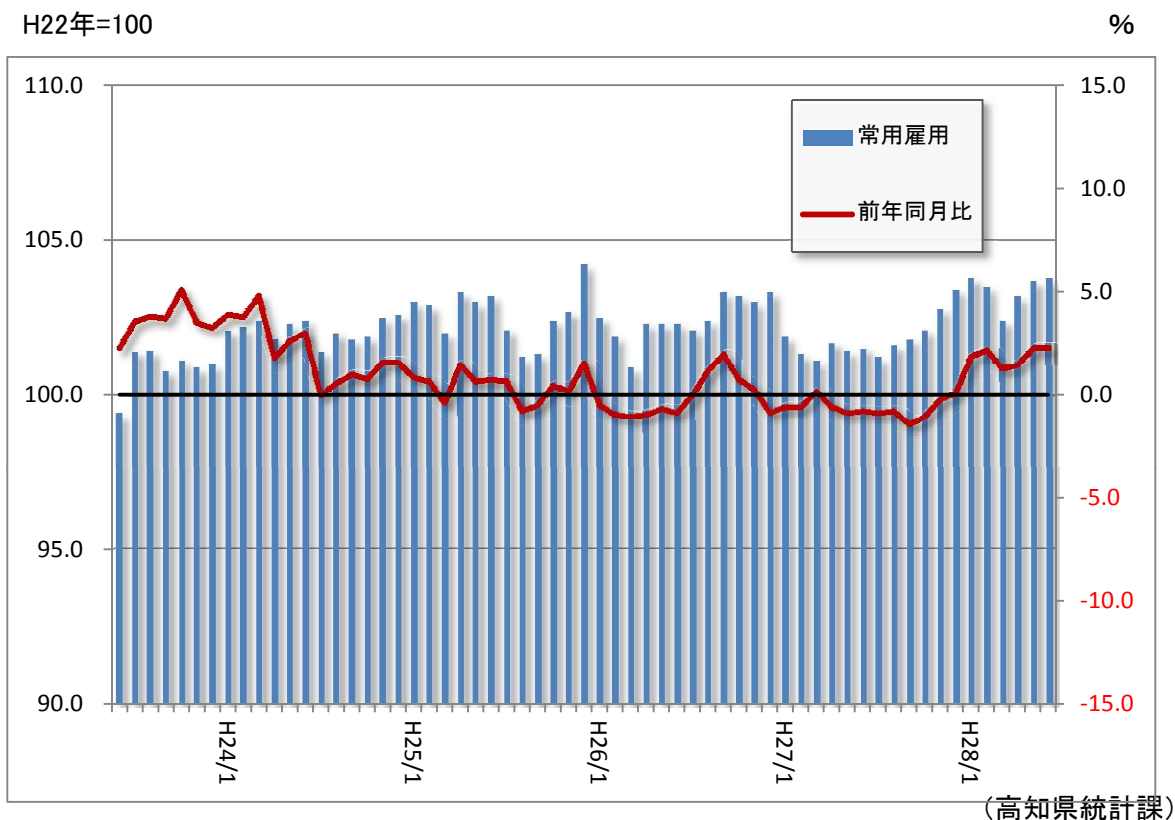
	(%)					
	H28/1	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6
所定外労働時間	119.3	115.9	122.7	117.0	104.5	105.7
前年同月比	6.0	3.0	0.0	3.0	▲8.0	▲5.1

指標解説

- ・就業規則で定められた時間を超過して勤務した時間。
- ・景気動向指数の「先行指数(製造業)」や「一致指数(全産業)」の系列に採用されることが多い。

常用雇用指数(6月)

「宿泊業,飲食サービス業」、「建設業」等で前年を上回り、7か月連続のプラスとなった。



結果概要

<全体>

- ・103.8。前年同月比+2.3%。
- ・7か月連続のプラス。

	(%)					
	H28/1	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6
常用雇用	103.8	103.5	102.4	103.2	103.7	103.8
前年同月比	1.9	2.2	1.3	1.5	2.3	2.3

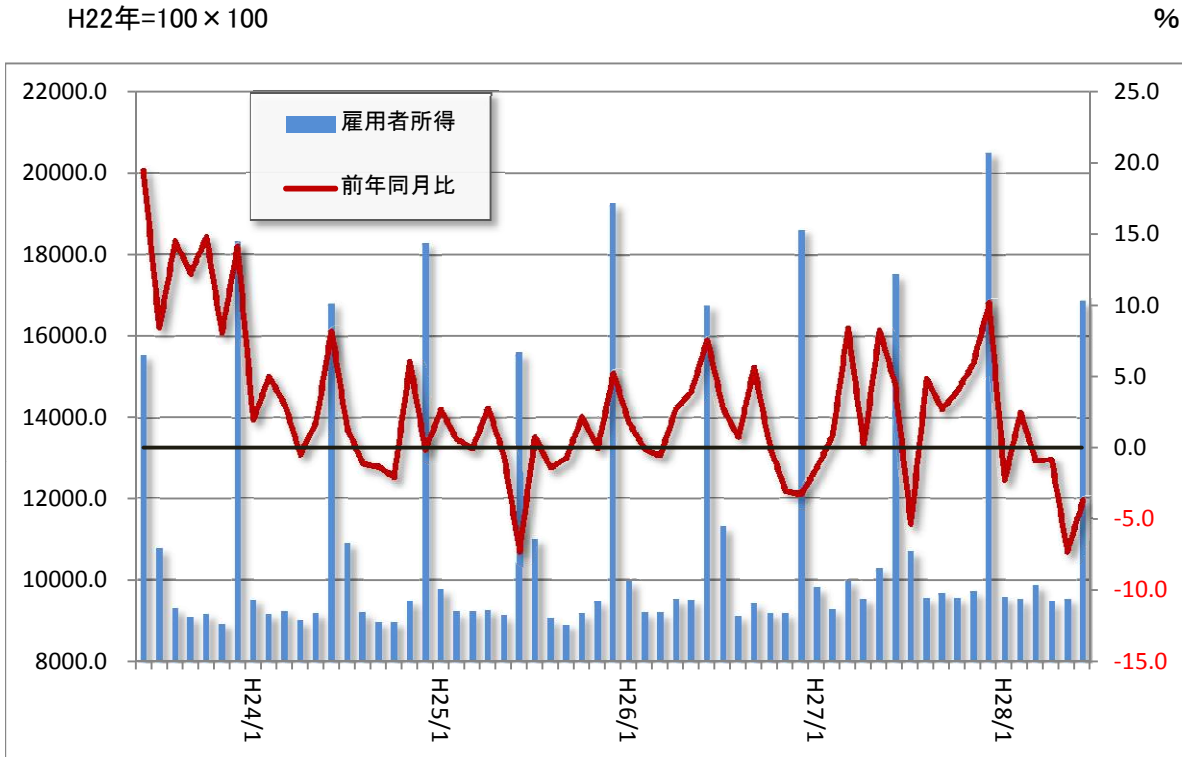
指標解説

・「期間を定めていないか、1ヵ月を超える期間を定めて雇われている人」または、「日々または1ヵ月以内の期間を限って雇われており、前2ヵ月にそれぞれ18日以上雇われた人」

・景気動向指数の「運行指数」の系列に採用されることが多い。

雇用者所得指数(6月)

常用雇用指数はプラスだったものの、現金給与総額指数がマイナスとなり、4か月連続のマイナスとなった。



(高知県統計課)

結果概要

<全体>

- ・16,878。前年同月比▲3.7%。
- ・4か月連続のマイナス。

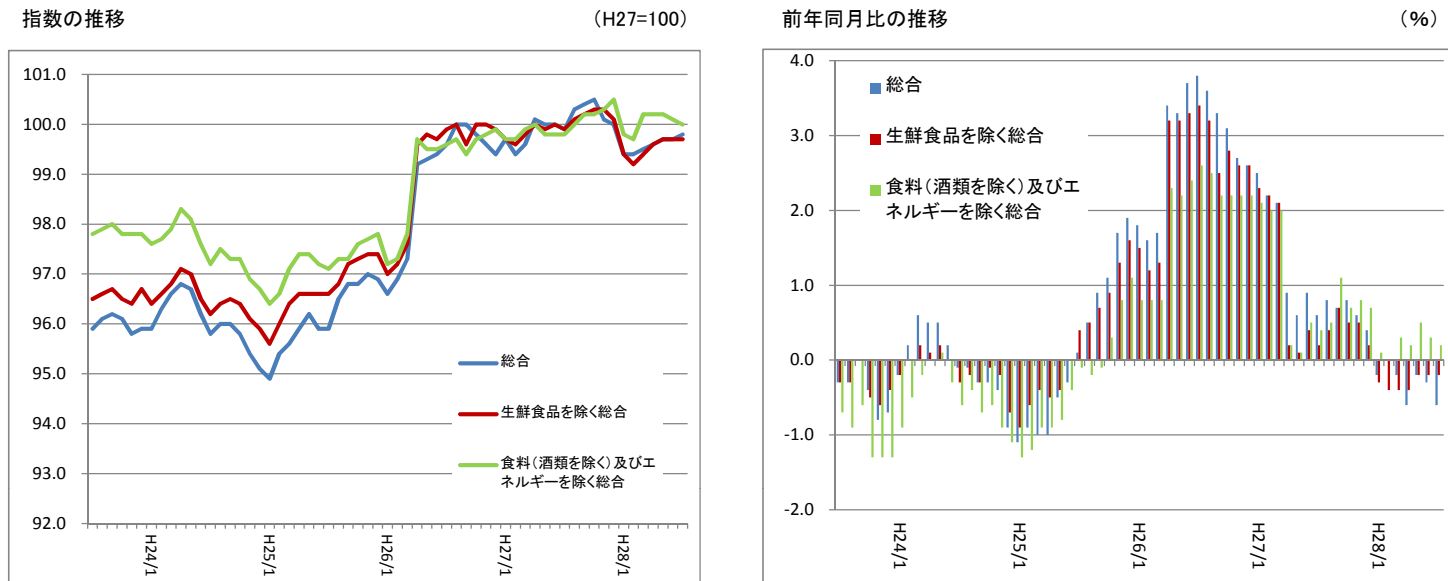
	(%)					
	H28/1	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6
雇用者所得	9,612	9,543	9,892	9,484	9,561	16,878
前年同月比	▲ 2.3	2.5	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 7.3	▲ 3.7

指標解説

・現金給与総額指数と常用雇用指数の積で、県全体の雇用者所得の動きを把握する指標の1つである。

消費者物価指数(7月) 高知市

「総合」及び「生鮮食品を除く総合」は前年比下落となったものの、「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合」は上昇した。



(高知県統計課)

結果概要

	指数	前年同月比
平成28年 (7月) 総合	99.8	▲ 0.1 (5カ月連続の下落)
生鮮食品を除く総合	99.7	▲ 0.2 (7カ月連続で下落)
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	100.0	0.2 (34カ月連続で上昇)

指標解説

消費者物価指数

- ・総務省の小売物価統計調査をもとに作成される代表的な物価指数の1つ。
- ・消費者が購入する商品やサービス価格を総合した物価指数で、特に天候などの影響を受けやすい「生鮮食品を除く」部分が注目される。
- ・景気動向指数の「運行指数」の系列に採用されることが多い。
- ・平成28年7月分の公表において、指数計算の基準となる年(基準年)が平成22年から27年に改定された。これに伴い、平成21年1月分まで遡って指数が改定された。

消費者物価指数(7月) 全国

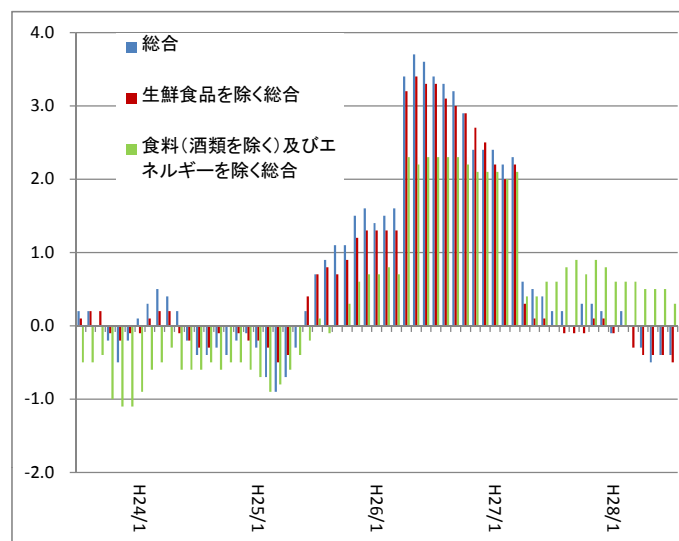
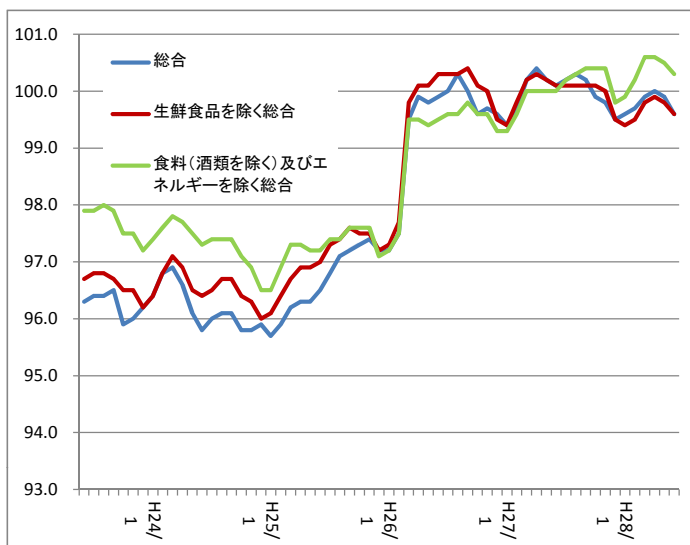
「総合」及び「生鮮食品を除く総合」は、前年比下落となったものの、「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合」は上昇した。

指数の推移

(H27=100)

前年同月比の推移

(%)



(総務省統計局)

結果概要

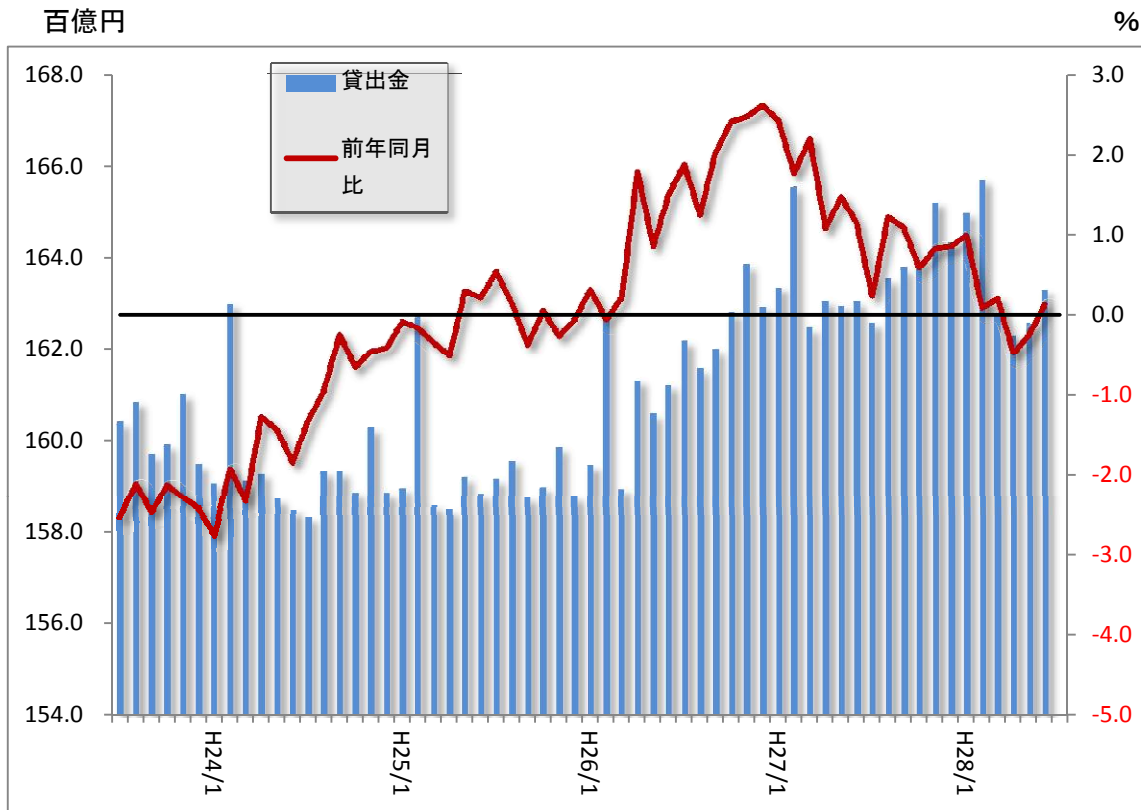
	指数	前年同月比
平成28年(7月) 総合	99.6	▲ 0.4
生鮮食品を除く総合	99.6	▲ 0.5
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	100.3	0.3

指標解説

消費者物価指数

- ・総務省の小売物価統計調査をもとに作成される代表的な物価指数の1つ。
- ・消費者が購入する商品やサービス価格を総合した物価指数で、特に天候などの影響を受けやすい「生鮮食品を除く」部分が注目される。
- ・景気動向指数の「運行指数」の系列に採用されることが多い。
- ・平成28年7月分の公表において、指数計算の基準となる年(基準年)が平成22年から27年に改定された。これに伴い、平成21年1月分まで遡って指数が改定された。

国内銀行の県内貸出残高(7月)



(日本銀行高知支店)

結果概要

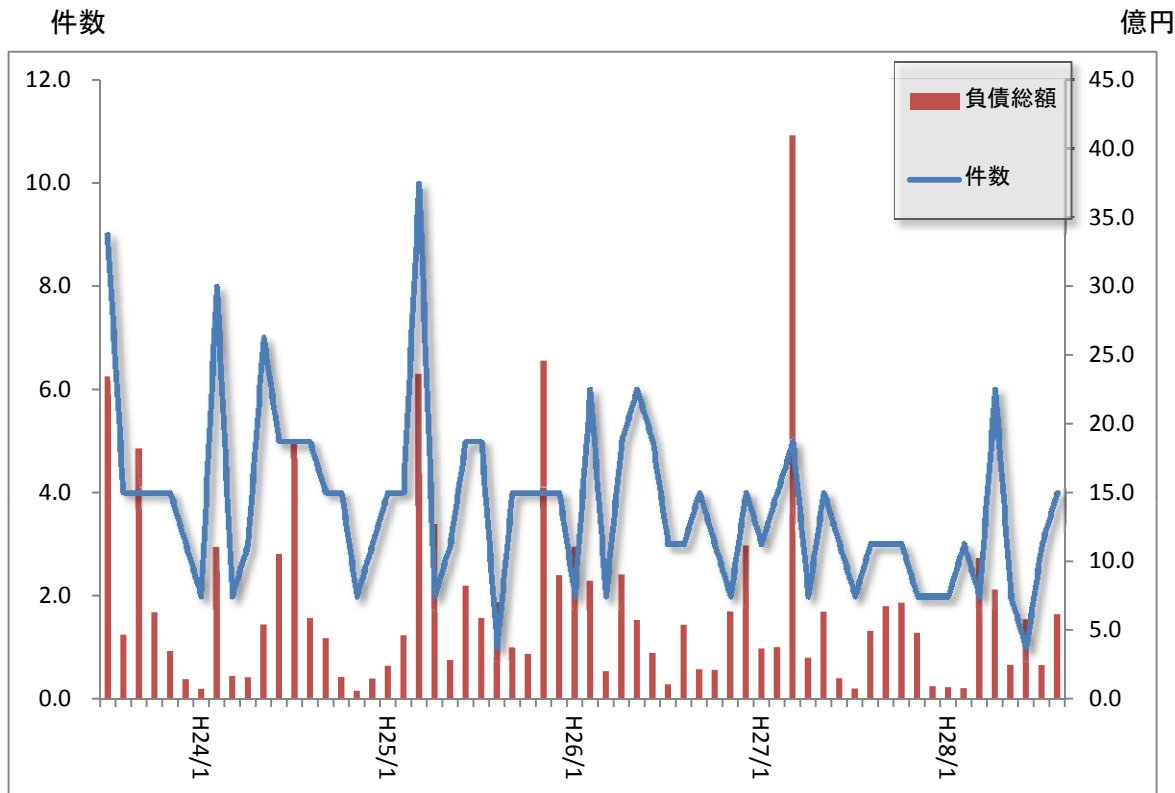
- ・1兆6,330億円。前年同月比+0.1%。
- ・3カ月ぶりのプラス。

	(百億円・%)					
	H28/2	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7
貸出金	165.0	165.7	162.8	162.3	162.6	163.3
前年同月比	1.0	0.1	0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	0.1

指標解説

- ・高知県内に店舗を置く国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)及び信用金庫、および信用組合の貸出金の合計。
- ・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されることが多い。

企業倒産状況(8月)



(東京商工リサーチ高知支店)

結果概要

<8月>

- ・4件(文具・事務機器販売、舗装工事、機械部品製造、空調設備工事各1件)。
- ・負債総額6億1,600万円。
前月比ベースの件数は1件増、
負債総額は3億7,100万円増(+151%)。

<7月>

- ・3件(製材業、木材搬出、各種食料品の小売り各1件)。
- ・負債総額2億4,500万円。
前月比ベースの件数は2件増、
負債総額は3億3,500万円減(-58%)。

(件・億円)

	H28/3	H28/4	H28/5	H28/6	H28/7	H28/8
件数	2	6	2	1	3	4
負債総額	10.20	7.92	2.47	5.80	2.45	6.16

指標解説

- ・法的整理、任意整理の合計値(負債総額1千万円以上)。
- ・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されることが多い。